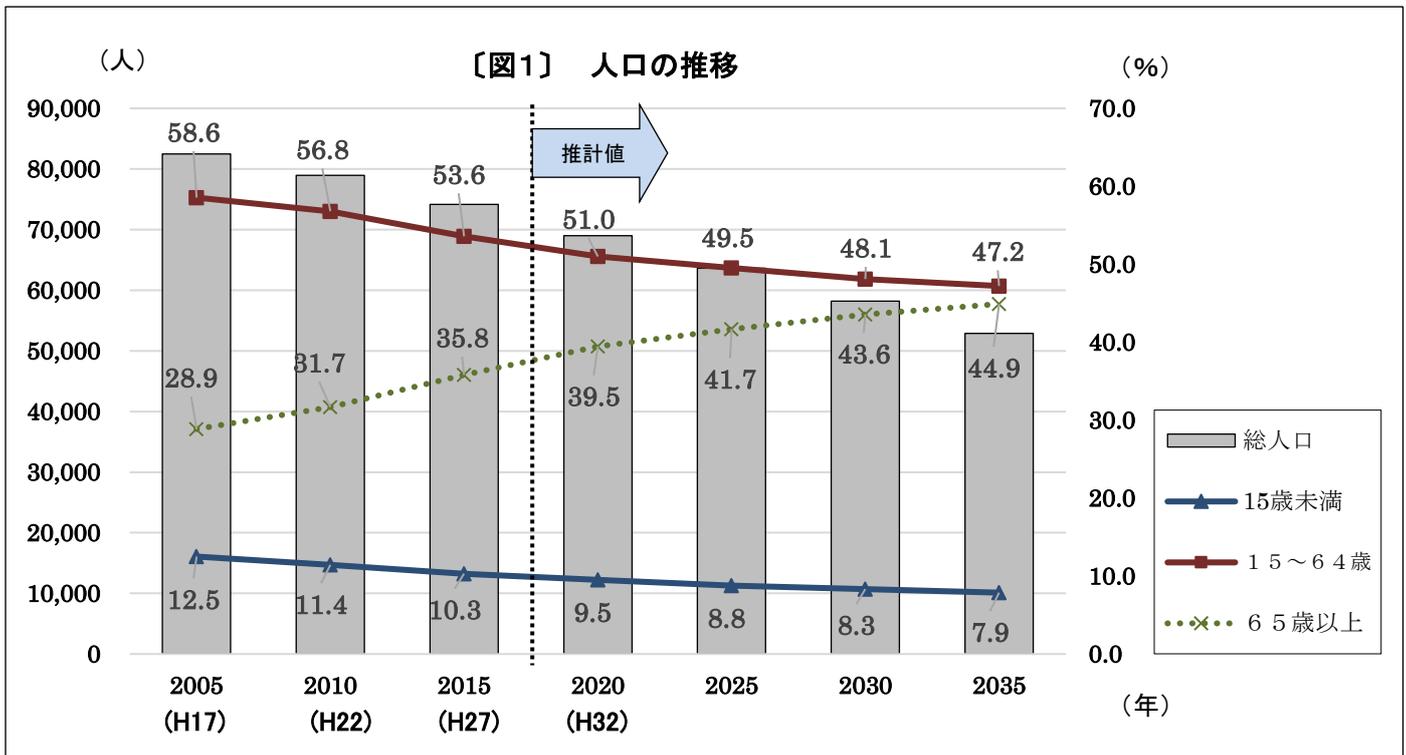


Ⅲ 統計でみる市の状況

1. 人口の推移

国や県では、これからも人口減少が進むものと予想しており、本市においても同様に、現状の推移では、人口減少が進むことが見込まれています。平成32年には65歳以上人口が39.5%と全人口の約4割となり、0～14歳の年少人口は1割に満たないと推計され少子高齢化も進むものと予想されます。

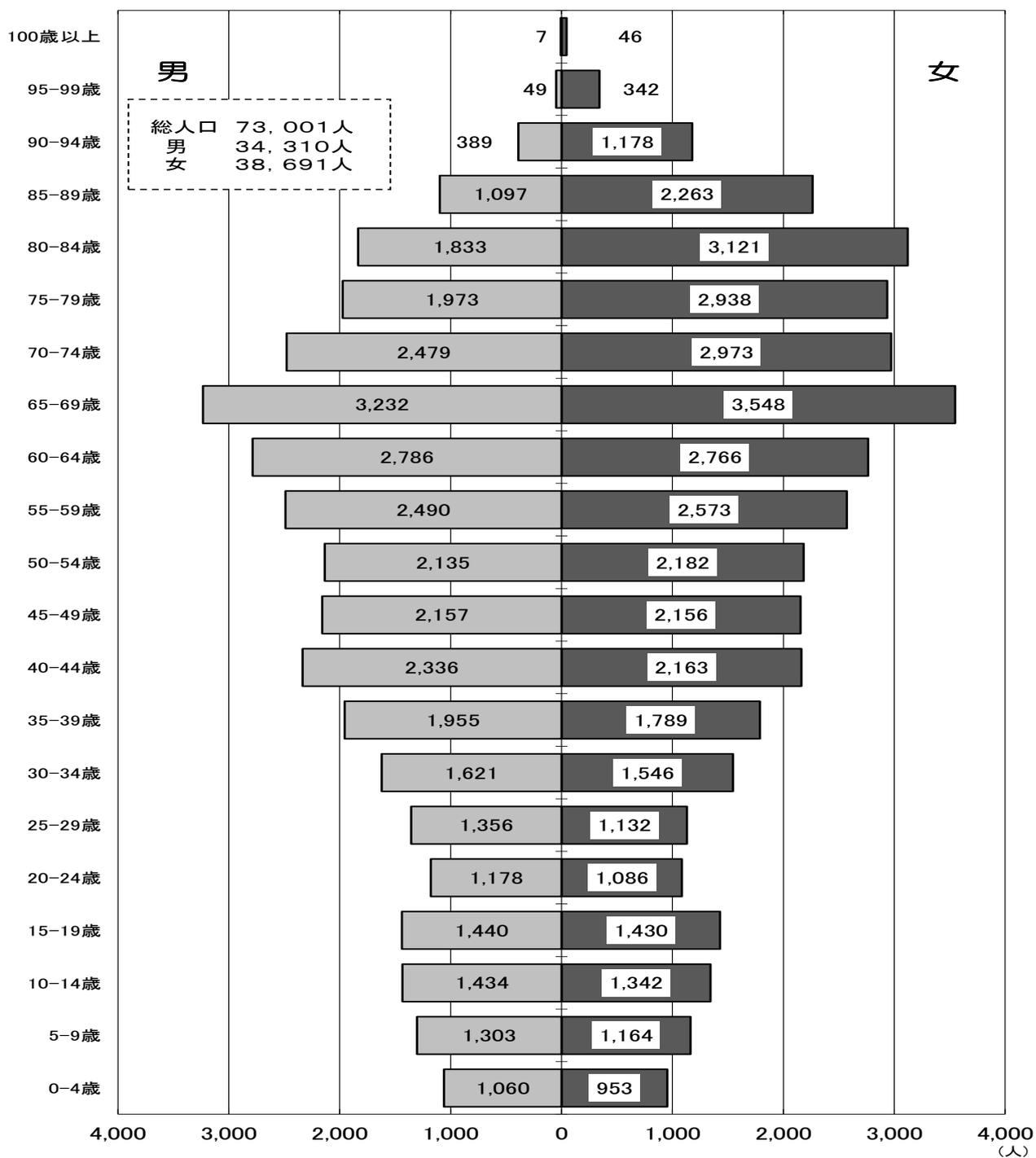


〔表1〕 総人口・年齢3区分別人口・世帯数

年度	人口(人)			年齢3区分別人口(人)			年齢不詳	75歳以上(再掲)	世帯数(世帯)
	総数	男	女	0～14歳	15～64歳	65歳以上			
2005(H17)	82,504	38,413	44,091	10,316	48,314	23,816	58	11,076	28,406
2010(H22)	78,946	36,762	42,184	9,026	44,842	25,017	61	13,458	28,565
2015(H27)	74,175	34,633	39,542	7,647	39,755	26,549	224	14,670	28,242
2020(H32)	69,018	32,277	36,741	6,572	35,201	27,245		15,011	
2025	63,626	29,878	33,748	5,581	31,523	26,522		15,950	
2030	58,183	27,469	30,714	4,846	27,987	25,350		16,184	
2035	52,895	25,082	27,813	4,164	24,974	23,757		15,592	

資料：国勢調査、H32年以降は日本の地区別将来推計人口

〔図2〕 年齢(5歳階級)別人口



資料：市民課住民基本台帳 平成30年3月末現在

2. 出生と死亡

(1) 出生数と出生率の推移

出生数は年々減少しています。平成28年出生率は、人口千対5.3で県より0.3低く、全国に比べると1.5低い状況です。

〔表2〕 出生数と出生率

出生数（人） 出生率（人口千対）

年		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
出生数 大館市		571	526	470	508	459	429	379	429	391	未確定
出生率	大館市	7.1	6.6	6.0	6.5	5.9	5.6	5.0	5.8	5.3	未確定
	秋田県	6.7	6.4	6.2	6.2	6.2	5.9	5.8	5.7	5.6	5.4
	全国	8.7	8.5	8.5	8.3	8.3	8.2	8.0	8.0	7.8	7.6

資料：秋田県衛生統計年鑑 平成24年～平成28年、人口動態統計 平成29年

(2) 死亡数と死亡率の推移

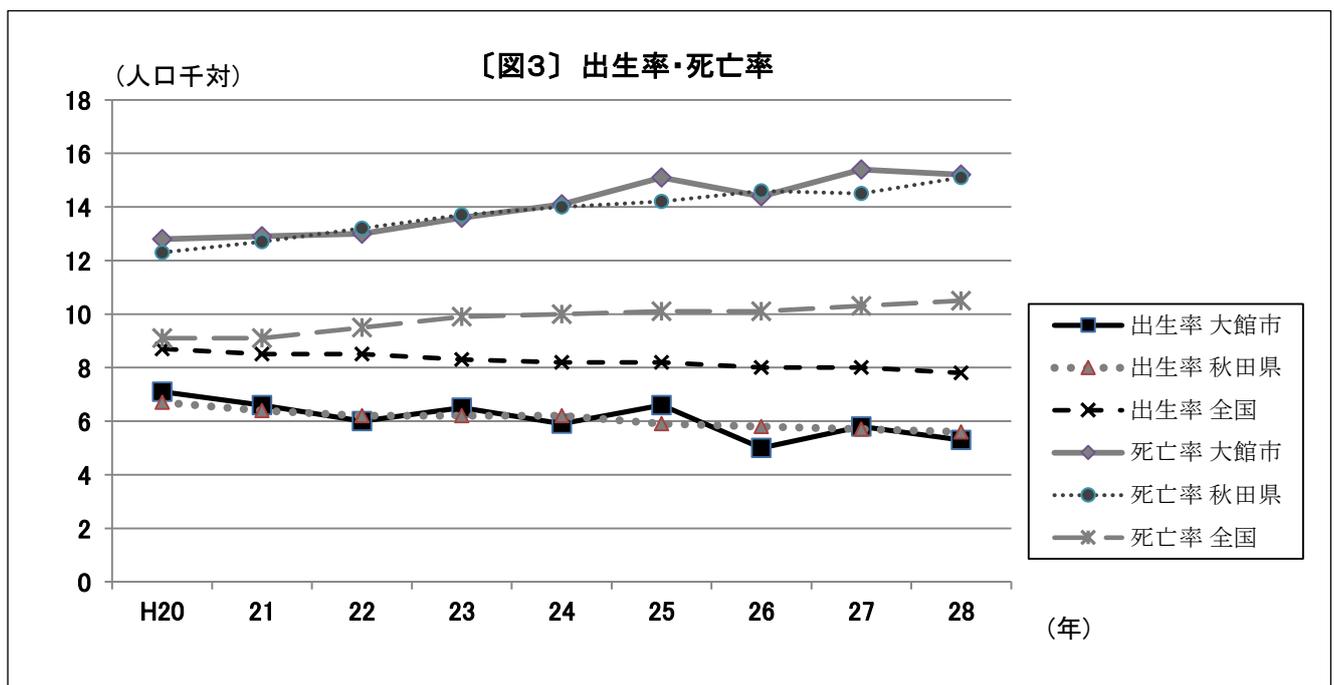
平成28年死亡率は、人口千対15.2で県より0.1高く、全国に比べると4.7高い状況です。

〔表3〕 死亡数と死亡率

死亡数（人） 死亡率（人口千対）

年		H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
死亡数 大館市		1,027	1,019	1,028	1,065	1,085	1,150	1,081	1,146	1,111	未確定
死亡率	大館市	12.8	12.9	13.0	13.6	14.1	15.1	14.4	15.4	15.2	未確定
	秋田県	12.3	12.7	13.2	13.7	14.0	14.2	14.6	14.5	15.1	15.5
	全国	9.1	9.1	9.5	9.9	10.0	10.1	10.1	10.3	10.5	10.8

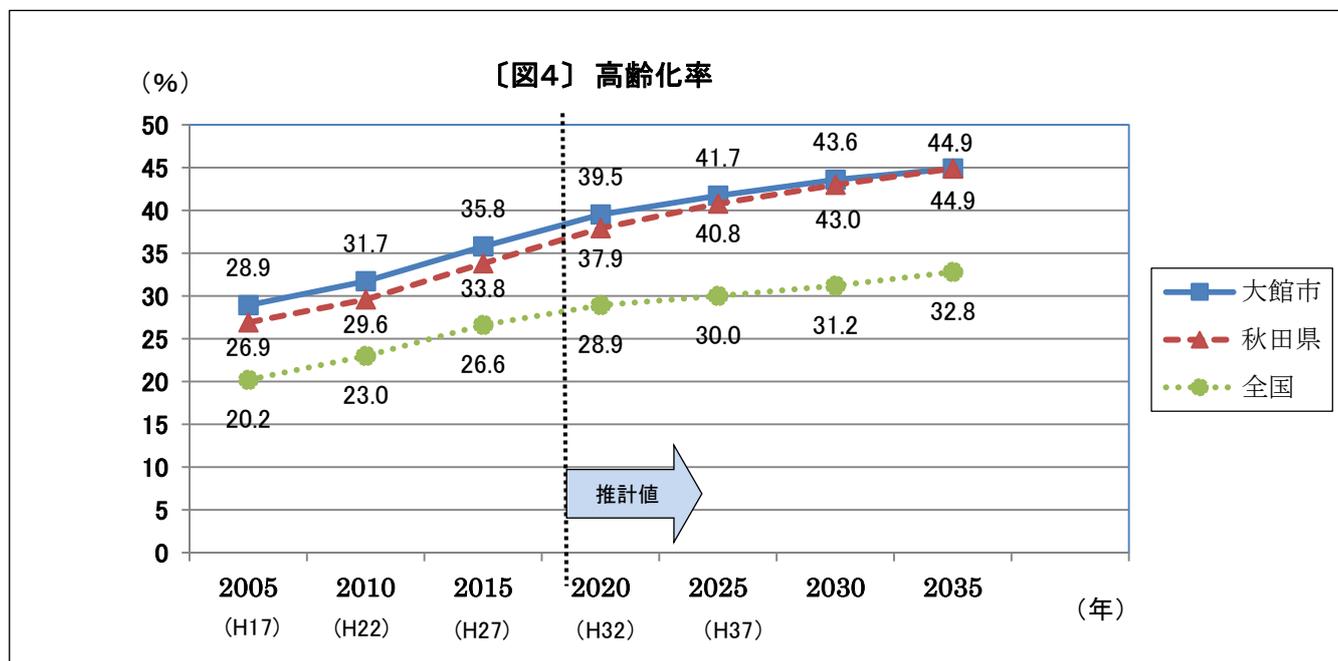
資料：秋田県衛生統計年鑑 平成24年～平成28年、人口動態統計 平成29年



3. 高齢者

(1) 高齢化率の推移

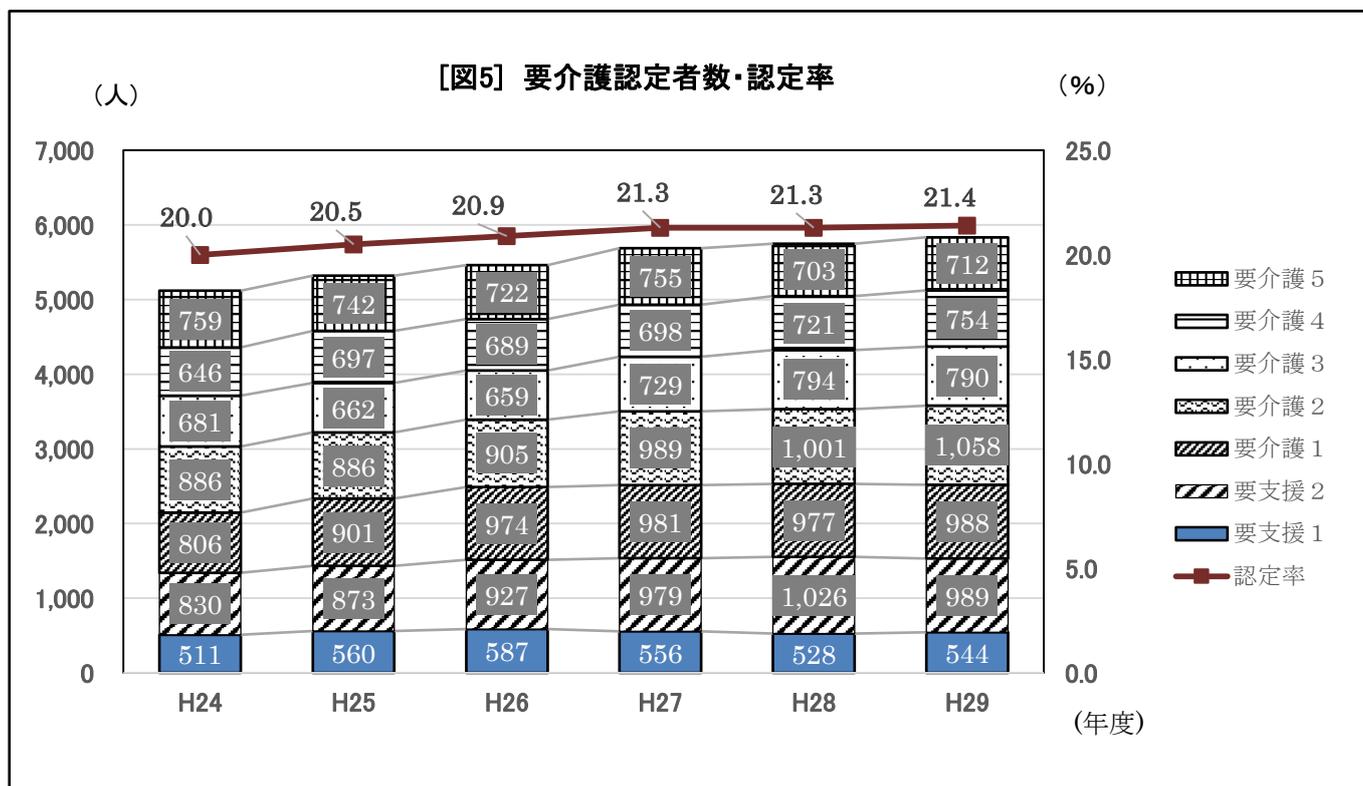
本市の高齢化率は、年々高くなり平成27年に35.8%で、県より高い状況です。推計によると平成37年には41.7%と4割を超えることが予想されています。



資料：国勢調査、平成32年以降は日本の将来推計人口

(2) 要介護認定者数・認定率の推移

本市の要介護認定率（65歳以上の高齢者人口に対する認定者の割合）は、平成27年から21%台で推移しています。

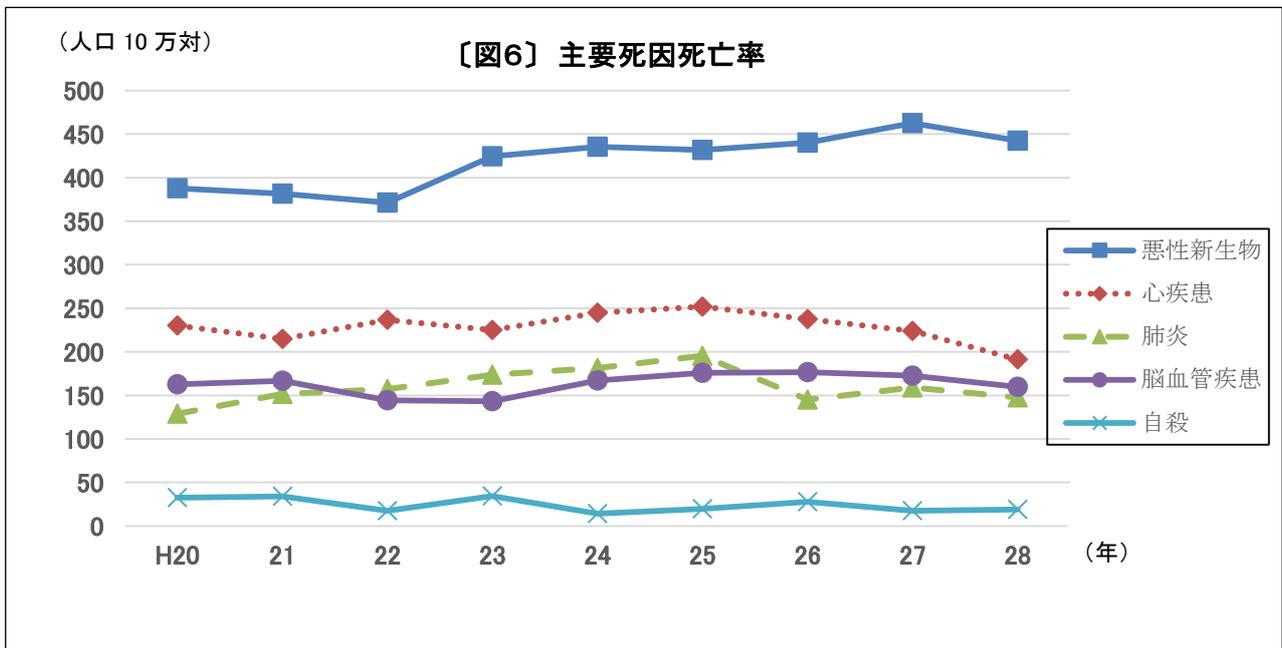


資料：大館市第6期介護保険事業計画 高齢者福祉計画 平成24年度～平成25年度、福祉事業の概要 平成26年度～平成29年度

4. 死因

(1) 死因別死亡率の推移

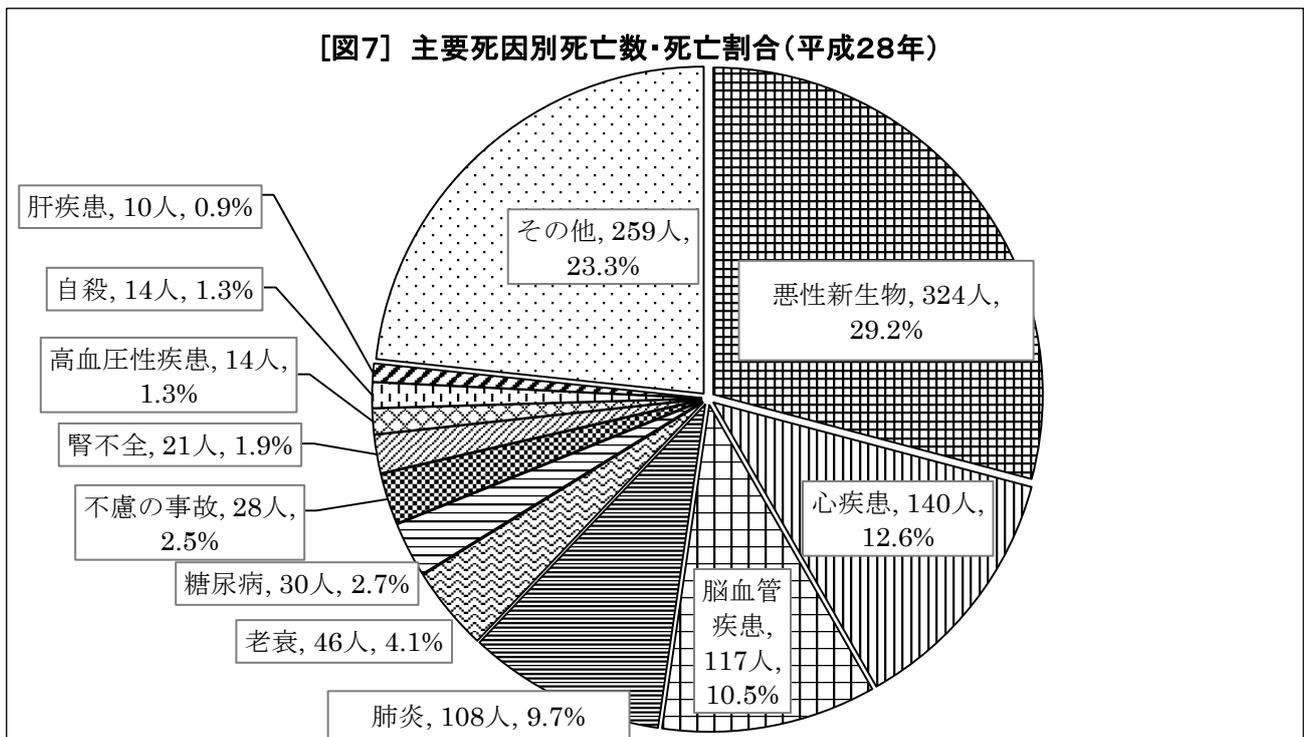
本市の死因の第1位は悪性新生物です。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっています。平成22年から第3位となった肺炎は、平成26年以降は第4位となっています。



資料：秋田県衛生統計年鑑

(2) 主要死因別死亡数・死亡割合

本市の平成28年の全死亡数1,111人のうち、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3つの疾患で半数を占めています。

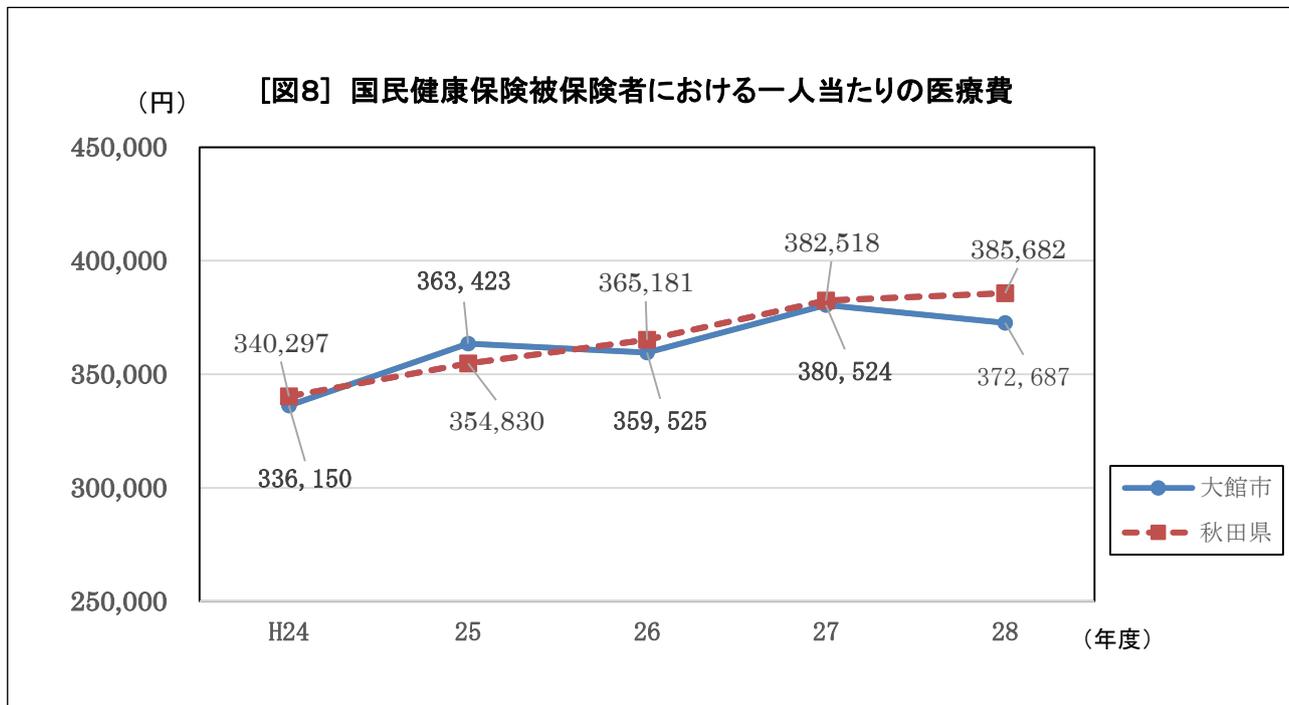


資料：秋田県衛生統計年鑑

5. 医療費

(1) 国民健康保険被保険者における1人当たりの医療費の推移

本市の国民健康保険被保険者における1人当たりの医療費は、緩やかに増加していますが、H28年度は県平均を下回る状況です。

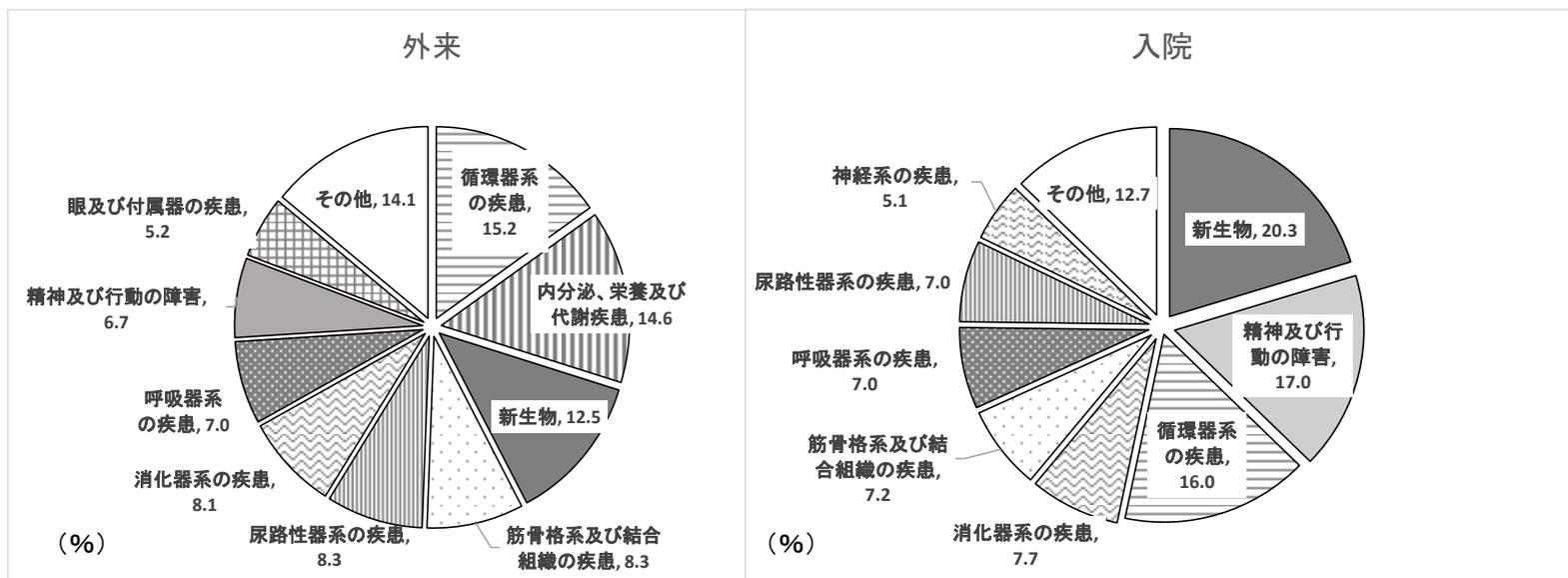


資料：大館市 平成29年度国保・高齢者医療 福祉医療の概要
秋田県 国民健康保険事業状況

(2) 国民健康保険の疾病分類別医療費

本市の平成29年5月（医療費の統計調査の全国的基準月）の診療分における国民健康保険の疾病分類別医療費をみると、外来では循環器系疾患、内分泌・栄養及び代謝疾患と生活習慣病の割合が多く、入院では新生物の割合が高くなっています。

【図9】 疾病分類別医療費の割合(平成29年5月)



注 社会保険表章による疾病分類（119項目）から、大分類である19分類を集計
資料：秋田県国民健康保険団体連合会疾病統計システムから集計